されず、

〔源氏物語四夕顔〕わが心ながら、かゝるすぢに、おほけなくあるまじきこゝろのむくひに、かくきしかた、行さきのためしとなりぬべきことはあるなめり、

〔和漢名數續編歳時〕一日四時　旦　晝　暮　夜　素問、岐伯曰、以一日分爲四時、朝則爲春、日中爲夏、日入爲秋、夜半爲冬、

〔伊呂波字類抄知字〕晝夜〔同天字〕朝夕

〔和爾雅二歳時〕晝夜　朝夕　旦暮　早晩　晨夕　旦夕　晨昏　昏明　蚤晏　曉夜　夙夜　昕夕　日夜　旦々日々也　日夕　黽暮黽、古文朝字、

〔書言字考節用集二時候〕日夜　晝夜昏明義同　旦暮又云　旦夕朝暮　旦夕又云　朝暮旦暮、昏明、晨昏、蚤晏、晨夕、夙夜、昕夜、日夜、日夕並同、

朝夕同上　晨昏　旭曛同　暾晡同　朝暮同　寅酉後太平記

〔源氏物語一桐壺〕此比あけくれ御らんずるちやうごんかの御ゑ、〇下略

〔新撰字鏡日〕昕許斤反、平、晨也、於保安加止支、又阿志太、

〔類聚名義抄二月〕朝陟驕反ツトメテ　アシタ

〔段注說文解字七上〕翰旦也旦者朝也、以形聲、會意分別、庸風崇朝其雨、傳云、崇終也、從旦至食時爲終、朝此謂至食時乃終、其朝、其實朝之義、主謂日出地時也、〇中略从軌舟聲、陟遙切、二部、

〔下學集上時節〕晨朝二字義同

〔饅頭屋本節用集之時節〕晨朝

〔書言字考節用集二時候〕晨文選註、朝謂日未出時、晨謂日出時、　朝同　旦同　夙同

〔萬葉集抄三〕あくとも、あしたともいふは、をろくなる詞也、

〔日本釋名上時節〕晨　あは、あさき也、をたは、下也、日のいまだあさくして、天の下にひきくある時也、